

～会計を通じて人に幸せを～

Hirai's レビュー

2011年2月号 (No. 26)

平井会計事務所 税理士 平井満広
〒108-0023 東京都港区芝浦4-22-1
芝浦アイランドエアタワー1704号
電話:03-3452-7082 Fax:03-6303-3350
Mail:m_hirai@hirai-ao.com
URL:http://www.hirai-ao.com/

粗利を下げたのは誰だ？犯人を特定する3つのカギ

「こんにちは、シバウラ会計です！」
「いやあ、待ってたよ。今日は聞きたいことがあるんだ」
「どうされましたか」
「先月の業績のことなんだけど…」
「確か試算表では今期最大の赤字でしたね」
「そうなんだよ」
「でも売上は今期で2番目に高い数字でした」
「そなんだ！売上が良いのにナンデ赤字なんだろう。先月も話を聞いたけど今いちよく分からなくて」
「それは大変失礼しました。では改めてご説明をさせていただきます」

◆赤字の原因を考える

「まず先月は今期で2番目の売上でしたが粗利額は今期最も低い数字でした」
「ん？なんでそんなことになるんだろう」
「その原因は粗利率が極端に低かったことにあります。例えば原価があがる要因はありませんでしたか」
「うーん、よくわからないけど、原価があがったことが原因なら価格交渉をしっかりするように購買担当を叱っておこう」
「ちょっと待ってください。原価があがる原因は価格の問題だけではありません」
「そうなんだ」
「例えば、数量のロスが増えていませんか」
「ロスのことはいつも言ってるんだよ！でも、なかなかおらなくて。よし、今から工場長を呼んで問い詰めよう」
「社長、落ち着いてください。粗利率が低かった原因は他にも考えられます」
「あ、そうなの」
「もしかしたら、先月は値下げ販売をしてませんか」
「あー、それなら心あたりがあるよ。営業主任が新しい仕事をとってきたけど、そういうときはたいてい無茶してるからね。営業部長からきつく言ってもらおう」
「さらに、ほかにも原因が考えられます」
「まだ、あるの？」
「御社では棚卸を毎月行っていませんか」
「だって大変なんだもの。倉庫責任者も忙しそうだし」
「そのため試算表にも棚卸が反映されていません。もしかしたら過剰在庫が発生しているかもしれません」

◆犯人を特定する

「なんだか犯人がたくさんいるんだね。推理小説は苦手だし、シバウラさん犯人を教えてよ」
「残念ながら、私にもわかりません」
「えっ！迷宮入りなの？」
「いえいえ、そうではありません」
「なんだ、おどかさないでよ」
「ただし、今のままだとそうなりかねません。試算表のような財務資料だけだと原因はつかめないんです」
「…どうすればいいの？」
「財務会計を深掘りするために、経営数字を管理会計の考え方で分析する必要があります。まずは毎月の販売量を調べてください」
「あー、それ前から指摘されているね」
「販売量が分かれば、売上金額から販売価格を計算することができます。さらに担当者別に集計すれば特定の担当者が極端に低い価格で販売していないかチェックすることができます」
「なるほど。それなら営業主任が犯人かどうか分かるね！早速、営業部長に指示を出そう」
「同じように原材料仕入の購入量も調べてください」
「……それもいつも言われてるね」
「購入量が分かれば、仕入金額から購入価格を計算することができます。さらに原材料別に集計すれば特定の原材料が高くなっていないかチェックできます」
「……まだ他にもあるんでしょ？」
「失礼しました。さらに今後は毎月、原材料在庫、販売在庫の数量を調べるようにしてください。毎月の増減を見れば過剰在庫の発生がスグにわかります」
「やっぱり棚卸をしないとダメか」
「毎月の原材料在庫と購入量を比較していけば原材料のロスがどれくらい発生しているか調べることもできます」
「……よしわかった！業績改善のため、ここはひとつ全社で取り組まないといけないようだね。早速、営業部長、工場長、購買担当、倉庫責任者全員に集まってもらおう！」
「社長、その調子です！犯人逮捕も目前ですね」

※このお便りは名刺の交換をさせて頂いた方にお送りさせていただきます。ご不要の場合はご連絡ください。

☆ ブログもご覧いただけたら幸いです。(平日毎日更新)⇒http://blog.goo.ne.jp/hirai_tax/